

サンチェッカーSP-1N/SP-1NA の違いについて

SP-1N

- ① 制御機器などの接点や結線の導通、半導体の極性がチェックできます
- ② 導通音は圧電ブザー
(500Ωまでの抵抗値は音(ピーという一定した音)が出ますが超えると止まります)
又はランプ(LED)で確認できます
- ③ 半導体の方向性のチェックをすることが出来ます。
純測定抵抗値は 500Ωまでです。
- ④ 2 台を利用して長距離線の導通チェックが出来ます(1000Ω迄)
(下図参照 例)

おすすめ先ユーザー: 導通、断線のみのチェックを主な検査としているユーザー様

SP-1NA

- ① 制御機器などの接点や結線の導通及びコイル、半導体の極性がチェックできます
- ② 導通音はコーンスピーカ(抵抗値の変化によってトーンが変化します)、
又はランプ(LED)で確認できます
- ③ 半導体の方向性、コイルの断線チェックすることが出来ます。
純測定抵抗値は 500Ωまでです。
- ④ 2 台を利用して長距離線の導通チェックが出来ます(1000Ω迄)
(下図参照 例)

おすすめ先ユーザー: 制御盤メーカー様。

抵抗値が変わるコイルや抵抗などの配線を検査したいユーザー様

